

## 東温スタディに参加された一般住民の皆様へ

当院では、東温スタディに参加された一般住民の方を対象として、心機能障害の頻度やその危険因子を明らかにするために研究を行っております。2009年4月1日～2024年3月31日に東温スタディに参加され、本研究の対象者に該当する可能性がある方で、保存された血液や診療情報等を下記の研究に利用されることをご希望されない場合は、末尾に記載しました【お問い合わせ先】までご連絡ください。情報の登録が終了し、解析を開始した後に協力取り消しを申し出られた場合は、本研究への協力を取り消すことができなくなります。なお、本研究への協力を拒否されても、今後不利益が生じることはありません。

**【研究名】**循環器疾患発症と関連する新たな危険因子の検索を目的とする NT-proBNP を用いたコホート研究（東温スタディ）

### 【本研究の目的と意義】

心不全は5年生存率が約50%と極めて予後不良です。ひとたび心不全を発症した場合、発症前の心機能に回復は望めず、再入院リスクや死亡率が高まります。心不全による運動耐容能低下は生活の質が低下し、認知機能の悪化にも繋がります。心不全を発症すると生き生きとした活力ある生活を送ることが困難となります。

そこで、東温スタディに参加された一般住民の方を対象に心不全の血中マーカーである NT-proBNP を測定し、心不全を発症していない時期における NT-proBNP 値から心不全発症の危険因子を明らかにすることを目的とし本研究を実施いたします。また、2019年以降に参加された一般住民の方で超音波心エコー図検査を施行させていただきました。本研究では NT-proBNP 値と心エコー指標と心血管危険因子や循環器疾患（心不全、脳卒中など）との関連についても調査いたします。

### 【研究対象者・該当期間】

2009年4月1日～2024年3月31日に東温スタディに参加、参加予定の一般住民の方を対象としています。

#### 【研究の方法】

東温スタディで取得した血液サンプルを用いて血中 NT-proBNP 値を測定します。第1期、2期登録住民の方で5年後、10年後再検した方は NT-proBNP を再検します。2019年以降に心エコー検査を行った一般住民の方の心エコー取得画像から心機能や形態異常の解析を行います。

#### 【資料/情報の管理方法】

本研究では、愛媛大学大学院循環器・呼吸器・腎高血圧内科学、糖尿病内科に設置したデータベースに、匿名化（注1）された情報を登録します。血液サンプルは愛媛大学大学院糖尿病内科で-80° 冷凍庫で厳重に保管します。

#### 【個人情報の取扱い】

情報は、お名前、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除し、匿名化した状態で登録、保管、解析されます。登録された情報は当院にて厳重な管理のもと保管されます。本研究の研究成果は学会等で発表を予定していますが、個人が特定される形で情報が公開されることはありません。

＜試料・情報の管理責任者＞ 愛媛大学医学部附属病院 循環器・呼吸器・腎高血圧内科学 井上勝次、愛媛大学医学部附属病院 糖尿病内科・臨床検査医学

#### 【本研究の実施の承認について】

今回の研究の実施にあたっては、愛媛大学医学部附属病院の倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。

#### 【本研究の利益相反】

集積された試料を用いた解析にある NT-proBNP の測定は研究協力機関であるロシュ・ダイアグノスティクス株式会社からの測定キットの提供を受けています。

（注 1）匿名化とは、誰のデータであるかわからないように研究番号を付して処理した状態を指します。

#### 【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院 循環器・呼吸器・腎高血圧内科 井上勝次

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5303